



進取

令和5年9月28日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数439人

スポーツの秋 食欲の秋 読書の秋 そして成長の秋

校長 中村 一成

2学期が始まり子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。始業式では、代表の児童3名が夏休みの思い出や2学期にがんばりたいことを発表してくれました。2学期にがんばりたいことで一番多かったことが、「かけっこをがんばりたい。」「応援合戦が楽しみ。」など運動会のことでした。また、全児童それぞれ運動会に向けての目標を決め、24日の運動会に臨みました。

3年ぶりの全学年そろっての運動会、子供たちは2学期になってから練習を積み重ねてきた成果を思う存分発揮してくれました。短距離走、かけっこでは、最後まであきらめず走りぬく姿が見られました。また、転んでしまった子をやさしく気遣う姿も見られました。表現運動では、2年生の可愛らしい踊りから、6年生の迫力あるソーラン節まで、隊形や踊りを華やかに見せる衣装や小道具の工夫がされており、見る側を楽しませてくれました。今年初めて実施した学級対抗の「ロングロープジャンピング20



23」は、練習の成果がそのまま結果として表れたようです。1学期から継続して練習してきた学級、朝や昼休みに練習を重ねてきた学級、本番もですが練習を通して、さらに学級の仲間意識が高まり、協力することの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。応援団は、この2年間結成されていなかったもので、去年までの流れがわからず苦勞したことと思います。それでも紅組団長・木村宙夢さん、白組団長・小崎真寛さんを中心に運動会を盛り上げてくれました。二人の団長は練習の時から人一倍声を出し本番では声がかれながらも、常に先頭に立って団員を鼓舞し、引っ張ってくれました。2人の閉会式の表情を見ていると、「やりきった」「全力を出し切った」という想いが表情にあふれていました。運動会で見せた子供たちのパワー、協力する姿、何事にもあきらめずやり抜く姿を、ぜひこれからの学校生活の中で生かしていけるよう、職員も一丸となって子供たちを見守り育てていきたいと思ひます。

2学期は、運動会を始め、市陸上記録会(5・6年)、修学旅行(6年)、なわとびチャレンジ(全学年)、集団宿泊学習(5年)など様々な行事が行われます。それらの行事をただこなすだけではなく、その行事の意義を考え目標をもって積極的に取り組んでほしいものです。そうすることで「自分にもやれる」「頑張ってよかった」という達成感が得られると思ひます。そのためには、家庭での支えが必要です。ぜひ、前向きな言葉かけをお願いいたします。子供たちは、ほめられることで、喜びを感じ、自信ややる気が育ちます。また、主体性や思いやりの心など社会に適應する力が育ちます。

2学期を意欲的に迎えた子供たち、運動会で力を出し切った子供たち、ほめる材料はいっぱいあります。子供たち一人一人が自分の成長を実感できる実り多い2学期になればと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。